

会議報告書 議事要旨（第2回庁舎検討懇談会）

-
-
- 【日 時】 2015/10/23 13:30～15:30
- 【場 所】 会津稽古堂 3F 研修室 2
- 【委 員】 出席 13 名、欠席 3 名（※別紙参照）
- 【事 務 局】 企画調整課 4 名 総務課 1 名
日本経済研究所 社会インフラ本部 2 名
- 【配付資料】
- ・ 次第
 - ・ 資料 1 会議報告書 議事要旨（第 1 回庁舎検討懇談会）
 - ・ 資料 2 他自治体の庁舎等整備事例
 - ・ 補足資料 年齢別（3 区分別）人口の推移
-
-

【議事要旨】

1. 開会（企画調整課）

- ・ 前回懇談会では、市の人口推移や「鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想」の説明を行った。
- ・ 今回は庁舎のイメージを膨らませてもらうため、他自治体の事例を紹介する。
- ・ 次回は、三菱地所設計の方より、現庁舎の状況を説明及び古い建物を整備した事例を紹介していただき、ひとつの考え方として庁舎整備に向けた認識共有を図っていきたい。

2. 議事

<補足資料について>

- ・ 前回の懇談会で、委員からご指摘いただき、補足資料を作成した。（企画調整課）

<委員より>

- ・ 平成 10 年頃から、庁舎整備については検討が上がっていた。その際、整備地区についても検討しており、駅前西口への移転が候補となった。しかしながらその後、様々な問題があり、また中心市街地活性化の観点が叫ばれ、整備地区については保留となっていた。
こうした庁舎整備の検討経緯がわかる人わからない人があるかと思うので、これまでの流れを時系列に並べ、資料として次回までに出して欲しい。
- ・ 承知した。（企画調整課）

（1）事例研究（他自治体の庁舎等整備事例）（日本経済研究所）

資料 2 に基づき、懇談会委員全員に向け、他自治体の庁舎等整備事例の紹介を行った。

～コメント・質疑応答～

<委員より>

1980 年以降、建築基準法の改正に伴い、公共施設・民間施設に関わらず、建物に対する公開性が求められるようになった。これまでの公共施設は、公開性がなく、市民に開かれたも

会議報告書 議事要旨（第2回庁舎検討懇談会）

のではなかった。都庁整備の際も、市民公開の視点が入り入れられ、かつ古いものを保存しようという意見も出されていたが、検討の末、現在の形がとられた。

会津美里町と南会津町の庁舎整備に携わったが、前者は検討の際、中心市街地の衰退と合併による分庁舎方式が課題となっており、市民意見を踏まえて場所・機能を議論した経緯がある。後者は、庁舎内に市民協働スペースを設置することに重点を置いており、結果、まちとの接続性が庁舎整備のポイントであるとなった。また、土地柄、雪対策への要望も高く、実施設計も終わったところではないか。

最近では、耐震性や防災、地域産材の活用、サステイナブルといった観点は、整備検討にあたり、当たり前の検討ポイントになりつつある。

保存型建築（リファイン建築）も青木茂先生を中心に、進められている。ただ、整備の内容によっては新築と同額かそれ以上に費用がかかることもあるので、コストバランスを見るべきである。

また、合併特例債の期限延長によって自治体はそれに間に合うように整備しようと進めているが、過疎化や人口減少が想定される中、合併特例債を過度に使用することは危険であると感じる。

最後に、大規模な市と会津地域を比較した場合、庁舎の整備の仕方の前提が異なると考える。会津地域は、より実質的な市民協働の視点を踏まえた整備の仕方をするべきではないか。公開性という点では、静岡県掛川市庁舎が参考になる。

<委員より>

- ・ 事例の中で、整備後に分散庁舎の形をとっている自治体については、リスク分散がなされているということか。
⇒ 長岡市は、まさにリスク分担の観点から分散庁舎となっている。（企画調整課）
- ・ 長岡市は中心市街地の第2次再開発事業に取り組んでいるか。
⇒ 現段階での事業の進展は把握していない。（日本経済研究所）
- ・ 会津美里町と南会津町の庁舎整備の効果はどうか。
⇒ 南会津町は現在活動しているまちづくりの人をどうやって市と連携させるか検討しており、市民関与が図られている。これから建設するので、実際の効果は何ともいえないが、設計事務所が参加した頻繁なワークショップの開催によって、市民協働が図られている。会津美里町については、近年の庁舎整備スタイルとは異なり、従来スタイルの庁舎整備事例と言える。（委員）
- ・ 地域のコンセンサスをもって現庁舎を残すことについてどのように思うか。
⇒ 賛成である。古い現庁舎をどのように評価するかは難しい。例えば、会津若松市役所の庁舎は、現在まで市民や訪れる人に愛されている庁舎であるからこそ、残してほしいと考える。
整備にあたっては、商店街との連携や周囲を良くするという視点を持って、進めていくとよいのではないかと考える。（委員）

次ページへ

会議報告書 議事要旨（第2回庁舎検討懇談会）

（2）フリーディスカッション（グループ別）

< Aグループ >

- ・ このような懇談会でなく、広く市民ニーズの把握をしたらどうか。自分は自治会関係でこの会議に出席しているが、合併時、庁舎を建設することは地域の総意だった。（委員）
⇒ 自由参加の場の設定や公開性を持たせた会議で議論をしたらどうか。（グループリーダー）
- ・ この会議について議論の的（テーマ）が絞られていない。絞る必要がある。まちなかの回遊性や中心市街地の活性化が必要だが、市内には人が集まれるスペース、ここに行ったら何かやっているというような所が無い。人が集まる機能を行政が提供したらどうか。
人が集まるところにするためには、バス路線のあり方もセットで検討する必要がある。（委員）
⇒ 何を議論して全体で何を決めていくのか。何を目指すのか。この懇談会の位置付けをはっきりさせるべきだ。市民意見の吸い上げについてはやり方を考えないといけない。確かに市内に集まれるところはない。（グループリーダー）
- ・ 福祉の立場から言うと、バリアフリーなどには十分に配慮して欲しい。（委員）
⇒ 会津若松市はユニバーサルデザインの実現については県内では先行している自治体である。（グループリーダー）
- ・ 矛盾しているかもしれないが、なるべく庁舎に来なくても用事が済むような仕組みを整えた上で、庁舎の機能を絞って欲しい。市の業務上、どれくらいのスペースが必要なのか我々にはわからないので、市役所内で議論のうえ集約すれば、広さや必要な機能がみえてくるのではないかと。駐車場についても重要なポイントになる。（委員）
⇒ アクセスのしやすさは重要になる。雪国において駐車場はポイントになる。この稽古堂が評判いいのも、地下駐車場でも使用が容易という要素があるからではないかと。（グループリーダー）
- ・ 庁舎の位置については、バス事業者の立場から意見すると、交通機関の便利なところが良い。また、あわせて道路網についても検討しないと、うまくいかない。（委員）
- ・ 庁舎を中心とした、まちなか活性化のためには、明確な導線処理が必要だが、今はどこかに行く「ついで」に、他の場所に寄ってみるということをしなくなっている。まちが点のまま、線にならなくなっている。（グループリーダー）
- ・ 次回の懇談会に向けて、この会議の位置づけ、回数、議論する内容などの全体像を再度明確にして欲しい。（グループリーダー）

会議報告書 議事要旨（第2回庁舎検討懇談会）

< Bグループ >

- ・ まず、将来的に、最小限必要となる機能を洗い出すべきであると考え。その後、優先すべきものなのか2次的に欲しいものとするのかを決めるとよいのではないかと考える。市民の考えやコストの面からの考え、高齢者の考えなど、様々な視点でバランスを取りながら何が必要であるか考えるべきである。

集約するかどうかも同様の考えで、市役所の機能を考えた上で、果たして何が必要か1つ1つ議論して決めていくべきではないか。（委員）
- ・ 庁舎整備の検討に当たっては、切り口が沢山あり、何をどう話してよいかわからない。自分たちに何を求められているのかわからないのが正直なところである。例えば財政問題から検討するのであれば、ふるさと納税を庁舎整備の一部財源に充てるなどが提案できる。また、専門的ではないため本庁舎の価値がわからないなど、様々な問題があるために、どこから何を話すべきかわからず話しにくい。（委員）
- ・ 基本的に現庁舎を保存する方向で、土地の観点から庁舎整備について考えている。庁舎の隣に東北電力があるが、東北電力の建物も老朽化が進んでおり、庁舎の整備と併せて協働で何かできないかと考えている。協働で整備可能ならば、文化交流施設を整備したり、アリーナを作ったりということが考えられる。

アオーレ長岡には観光客も多いが、そういった整備事例を参考に、鶴ヶ城、会津若松市庁舎、七日町通り等の観光ルートの一つのポイントとなるような庁舎を目指すのはどうか。（委員）
- ・ 会津若松市外から嫁いで来た身からすると、会津若松市庁舎は市のシンボルという印象である。現庁舎の場所では、駐車場が不足していること、バスが頻繁ではないことから、交通利便性が低く、その点は大きな問題であると考え。

分散庁舎について、福祉に携わる者として意見すると、現在の第2庁舎には福祉系の機能が集約されており、便利である。前回の議事録を見ると、将来的に庁舎に足を運ばずとも用事が済むことが増えるだろうという意見がみられたが、高齢者の方などは、市役所まで足を運んで、市の方と直接話し、相談に乗ってもらうことを楽しみにしている人もいる。従って、必ずしも集約し、人を削減する方向ではなく、人も必要であると考え。バリアフリーについてはなんでもかんでも必要であるとは思わないが、適宜必要であると考え。

文化センターや公民館については、交通利便性が低いため、福祉で何かイベントをやるうにも人集めが難しく、あまり取組めていない状況である。（委員）
- ・ 現庁舎は残した方が良く考えているが、駐車場や市民のフリースペースが不足しているので、後ろにずらすのはどうか。夜にライトアップされている光景などはとても美しいので残したい光景である。ただ、現庁舎後にはスペースがなく、駐車場やフリースペースとしても不足が想定されるので、総合庁舎を建設する場合、1階を駐車場とし2階以上を市役所と

会議報告書 議事要旨（第2回庁舎検討懇談会）

する、東北電力のスペースや、古くなっている県合同庁舎、旧若松女子高校など、周辺を巻き込んで整備を行うべきである。庁舎南側のグラウンドを周辺と一体的に有効活用するなど、工夫するとよいのではないか。（委員）

⇒ 葵高等学校のグラウンドは、子どもの利便性や安全面から、なかなか移転が出来ないという意見がこれまでにあった。グラウンドを代替するスペースがあればそちらにグラウンドを整備し、現在の場所に駐車場整備することも考えられる。（グループリーダー）

・ 例えば、県と市の合同庁舎も考えられるのではないか。（グループリーダー）

⇒ 県合同庁舎は、今年度からは耐震工事が始まるため、現状ではその考え方は想定できない。（委員）

・ 現在、市内に観光バスの駐車場はあるのか。（委員）

⇒ ない。（グループリーダー）

旧陸上競技場を使用してはどうか。（委員）

⇒ 毎年、花見の季節には駐車場が不足し、民間スペースの利用を行うなどしており、慢性的な問題である。解決しなければいけない問題である。県立会津総合病院の跡地利用についても検討の必要がある。解体は12月から平成29年3月までが期間となっており、解体するだけで10～19億かかると言われている。

現庁舎の場所は、商店街からは遠いが、場所は良いと言われている。駅前には、観光地のイメージがある会津若松であるが、現状では来てがっかりする場所である。観光客からすれば、イメージを持って降りたのに、下車すると目の前には、チェーン店ばかりでイメージとのギャップがある。駅前には、サティ跡地と大通りを含めて、会津らしい雰囲気のある建物が建つとよい。（グループリーダー）

・ 会津若松市人は、土日になると市外（新潟や郡山）に出ることが多い。GMSや映画館に行ってしまう。県立病院跡地にそういった人を吸い寄せられるものを整備するのはどうか。（委員）

・ 現在、神明通りのアーケードを商店街の方の協力のもと外している。

商店街の方は当初、アーケードがあるから人が来ると信じていたが、外そうが外すまいが、実際はそんなに人の入りは変わらなかった。（グループリーダー）

⇒ アーケードがないと明るく、違った印象でよいと感じた。（委員）

・ 庁舎までの交通利便性の低さについて言えば、コミュニティサイクル等が活用できないか。また庁舎整備位置は、まずはどのような機能を持たせるかを考えて、場所を決める方がよいのではないか。庁舎検討懇談会の位置づけがわかりにくい。（委員）

会議報告書 議事要旨（第2回庁舎検討懇談会）

3. 閉会（企画調整課）

- ・ スケジュールや懇談会の位置付けについては、追って改めて説明する。
- ・ 次回は、11月17日（火）13：30～15：30を予定。場所は、会津稽古堂1階 多目的ホールで行う。三菱地所設計の方から、「歴史的建築物の保存活用について」及び「本庁舎の価値について」ご説明いただき、庁舎整備に向けたひとつの考え方として共有していきたい。なお、次回については、皆様とともにより多くの方々に説明を聞いていただきたいと考えている。
- ・ 第4回は、12月17日（木）13：30～15：30を予定。場所は会津稽古堂3階 研修室2で行う。
- ・ 庁舎検討懇談会の回数であるが、見直しを行い、全体回数が2回程度増える可能性がある。今後のスケジュールについては次回以降にお伝えする。

以上

会議報告書 議事要旨 (第2回庁舎検討懇談会)

(別紙)

【参加者】 (◎印…グループリーダー、敬称略)

グループ	氏名	備考
A	渡部 卓也	公募市民
B	小林 正人	公募市民
B	渡部 香世子	公募市民
B	柁屋 奈津子	公募市民
A	大須賀 啓次	公募市民
A	斎藤 良雄	各種団体 (会津若松市区長会)
A	宮森 泰弘	各種団体 (会津若松商工会議所)
◎B	澁川 恵男	各種団体 (株式会社まちづくり会津)
B	小畑 匠	各種団体 (会津青年会議所)
B	竹内 樹美	各種団体 (福島県建築士会会津支部)
A	佐藤 俊材	各種団体 (会津若松市地域公共交通会議)
◎A	柴崎 恭秀	学識経験者 (会津大学短期大学部教授)
B	中川 浩然	行政機関 (福島県会津地方振興局)

計 13 名

【欠席者】

氏名	備考
小椋 満幸	公募市民
松嶋 加代子	公募市民
宮澤 洋一	各種団体 (会津若松スマートシティ推進協議会)

計 3 名